

# 子供・若者 インデックスボード

「子供・若者インデックスボード」とは、子供・若者の生育状況等に関する各種指標を「子供・若者インデックス」と名づけ、それらを整理し、可視化したデータ集です。

子供・若者育成支援推進大綱（2021年4月策定）において、子供・若者育成支援施策の評価や、社会総掛かりでの子供・若者の育成に資するため、作成・公開することとされました。

本白書に掲載しているのは、その初版（ver.1.0<sup>\*</sup>）であり、今後、各種基本計画・大綱における目標・指標の追加など、指標の加除やデータの更新をタイムリーに行ってまいります。最新版は、内閣府青少年ホームページ（<https://www8.cao.go.jp/youth/index.html>）に掲載しておりますので、ご参照ください。

※バージョン番号については、指標の加除を行った場合は小数点前の数字を、データの更新を行った場合は小数点後の数字を変更していきます。

## 【構成】

○子供・若者の現状を、主観、客観の両面から明らかにするため、Ⅰ.子供・若者の意識、Ⅱ.子供・若者及び子供・若者を取り巻く状況、の2部構成としています。併せて、内閣府が作成・公開している「満足度・生活の質を表す指標群（ダッシュボード）」に、子供・若者に係るデータがある場合には当該データを追記した資料を掲載しています。

## 【目次】

<p><b>Ⅰ 子供・若者の意識</b></p> <p>1. 自己について（自己肯定感等）…246</p> <p>2. 周囲について…247</p> <p>①居場所…247</p> <p>②相談できる人…248</p> <p>③助けてくれる人…249</p> <p>④場ごとの認識…250</p> <p>⑤人との関わり…250</p> <p>⑥居場所の数と自己認識の関係…251</p> <p>⑦相談できる人がいる場の数と自己認識の関係…252</p> <p>⑧困ったときに助けてくれる人がいる場の数と自己認識の関係…253</p> <p>3. 支援について…254</p> <p>・居場所の数との関係…255</p>	<p><b>Ⅱ 子供・若者及び子供・若者を取り巻く状況</b></p> <p>1. 場ごとの状況…256</p> <p>①家庭（虐待、貧困、ひきこもり等）…256</p> <p>②学校（自殺、不登校、いじめ等）…257</p> <p>③地域（地域での付き合い等）…260</p> <p>④ネット（利用状況、SNS被害等）…261</p> <p>⑤働く場（失業率、平均賃金等）…262</p> <p>2. 複数の場に共通する状況…264</p> <p>①生命・安全（自殺、犯罪等）…264</p> <p>②健康（肥満、痩身、視力等）…265</p>	<p><b>Ⅲ 満足度・生活の質を表す指標群（ダッシュボード）</b></p> <p>・家計と資産…266</p> <p>・雇用と賃金…267</p> <p>・住宅…268</p> <p>・仕事と生活…269</p> <p>・健康状態…270</p> <p>・教育環境・教育水準…271</p> <p>・社会とのつながり…272</p> <p>・自然環境…273</p> <p>・身の周りの安全…274</p> <p>・子育てのしやすさ…275</p> <p>・介護のしやすさ・されやすさ…276</p>
---	---	--

## 【凡例】

○Ⅰ、Ⅱの時系列の棒グラフについては、これまで5年周期で大綱を策定し、施策を推進してきたことを踏まえ、比較可能なデータがある場合は、直近のデータと、5年前のデータ（5年前のデータがない場合は、それに最も近い時期のデータ）を掲載し、この間の変化を直感的に把握できるようにしています。また、直近のデータが改善している場合は棒を空色（）に、改善していない場合（データの増減だけで改善したかどうかを判断することが困難な場合を含む）は棒を赤色（）にしています。

○年号の数字は、西暦の下2ケタです。

○「Ⅰ 子供・若者の意識」の値は、設問に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」との回答の合計値です。

# 子供・若者インデックスボード ver.1.0

子供・若者  
インデックスボード

## I 子供・若者の意識（出典：内閣府「子供・若者の意識に関する調査」※）

### 1. 自己について

#### 自己肯定感

今の自分が好きだ



#### 自己有用感

自分は役に立たないと強く感じる



#### 今の充実感

今の生活が充実している



#### 将来への希望

自分の将来について明るい希望を持っている



※13年度については、内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」の数値

#### チャレンジ精神

うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む



#### 社会貢献意欲

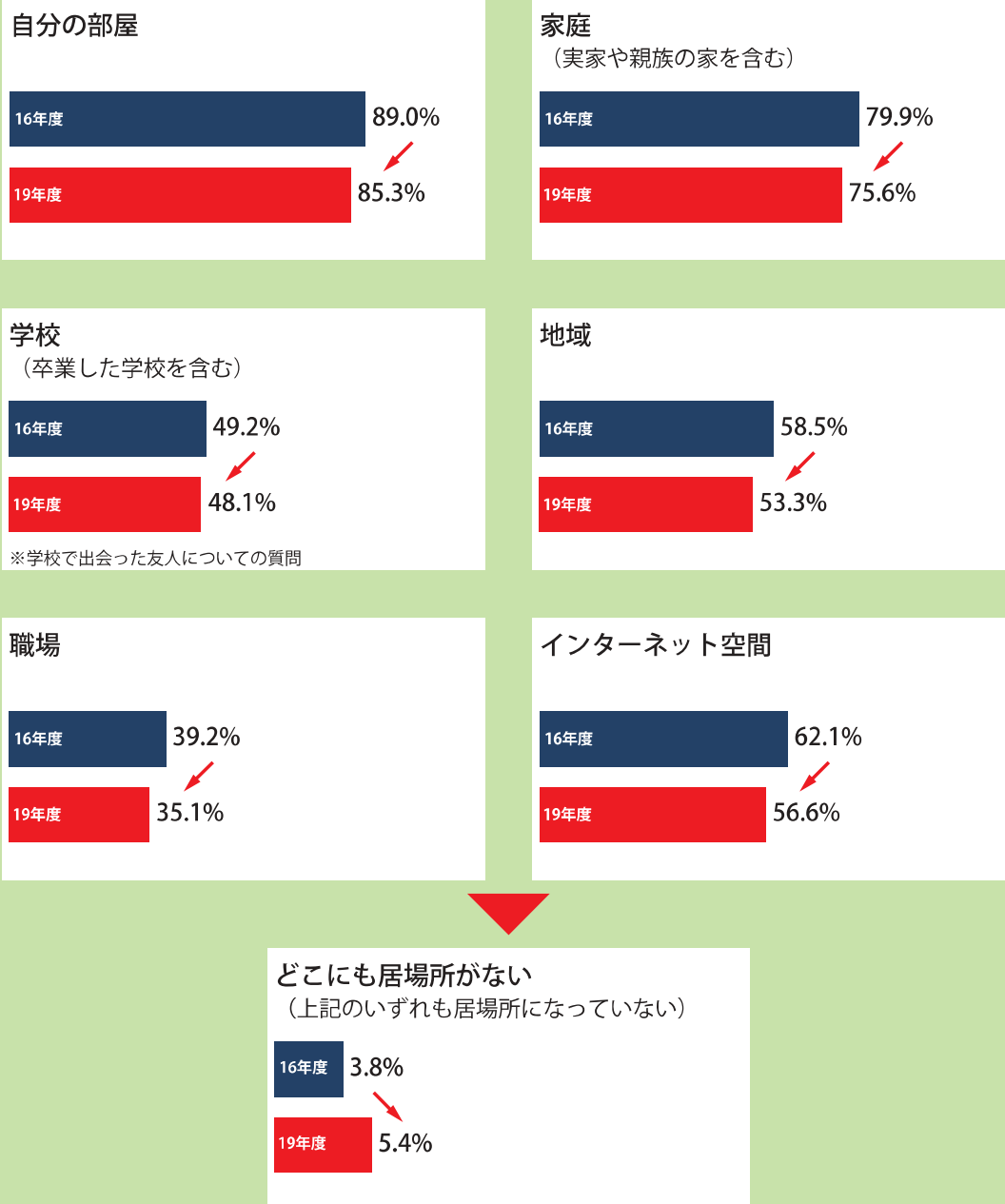
社会のために役立つことをしたい



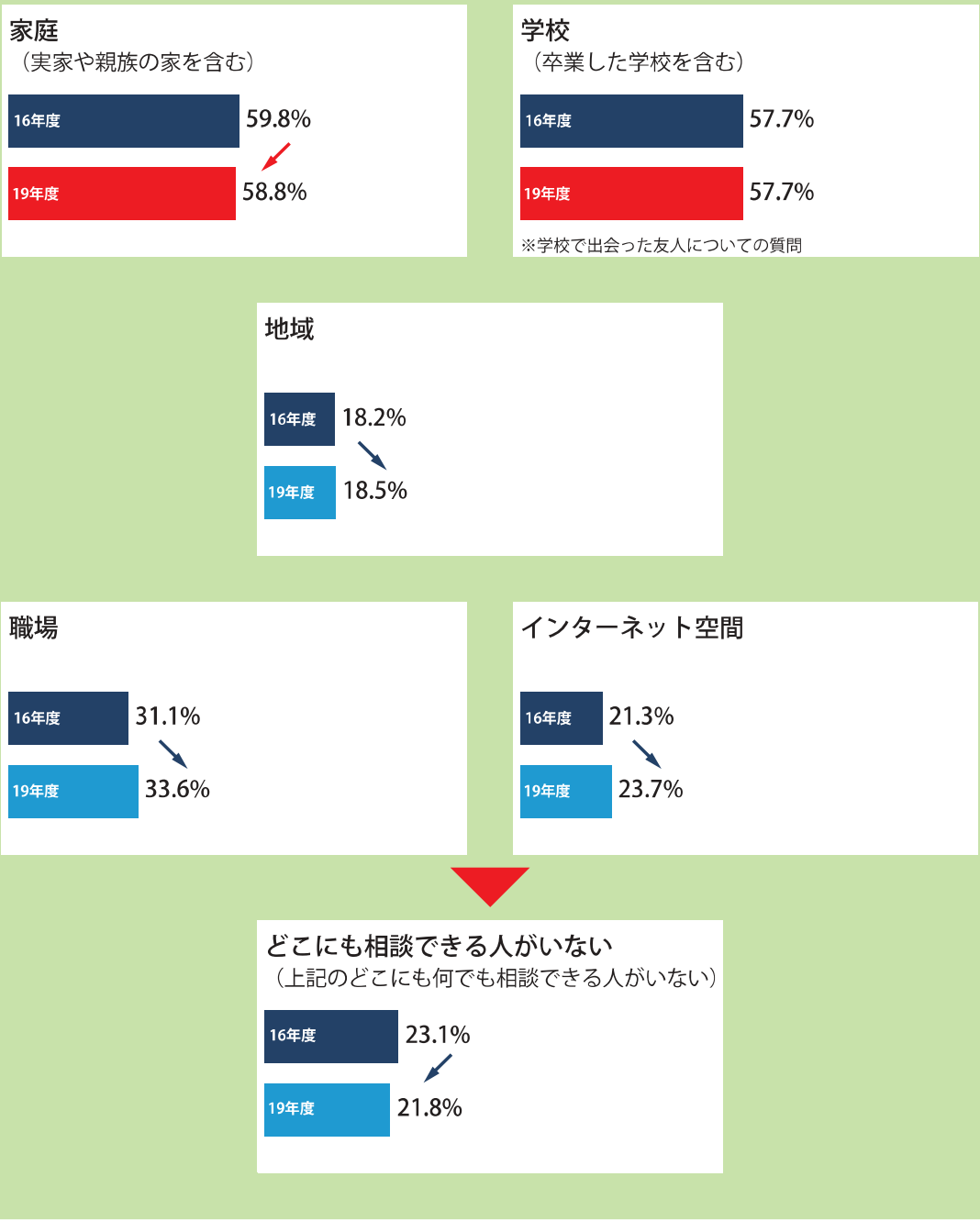
※詳細は、内閣府ホームページ（<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/ishiki/r01/pdf-index.html>）参照

## 2. 周囲について

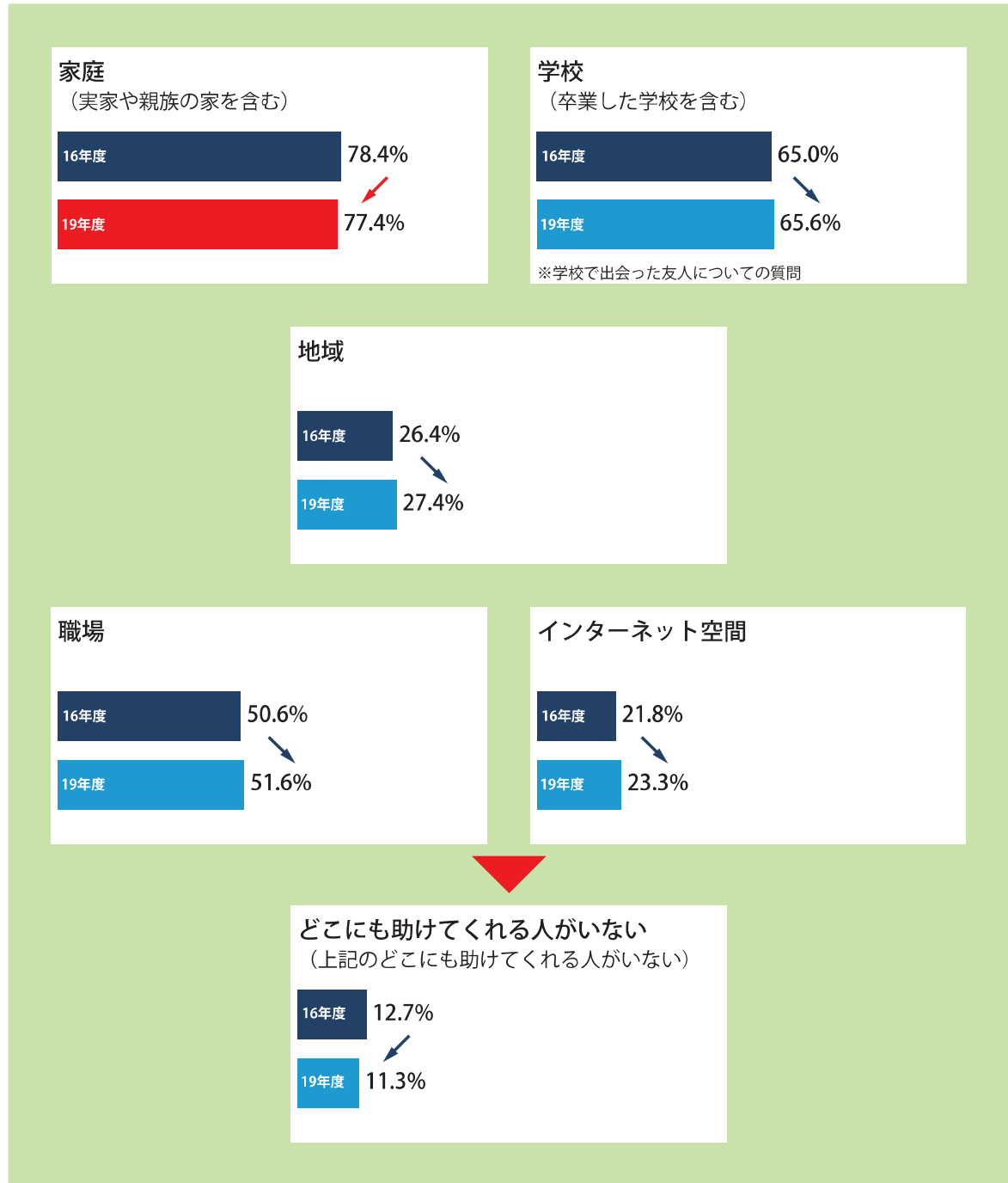
## ①居場所——次の場所が、ほっとできる場所、居心地のよい場所等になっている



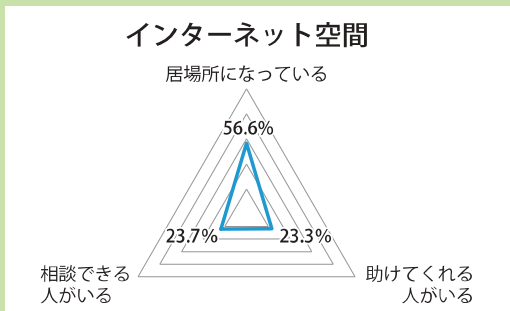
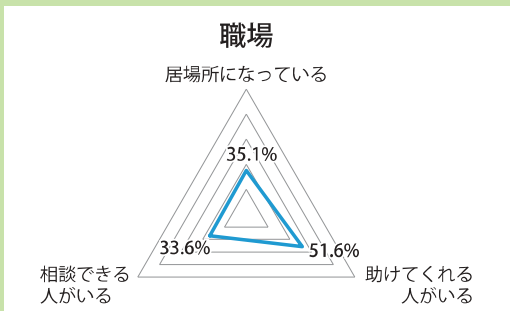
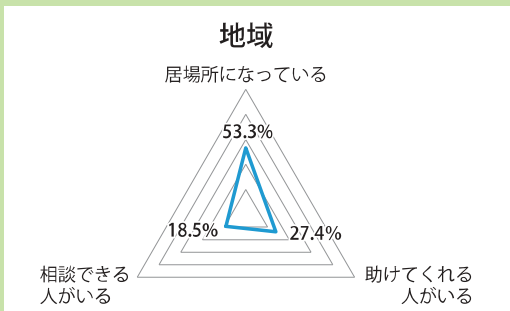
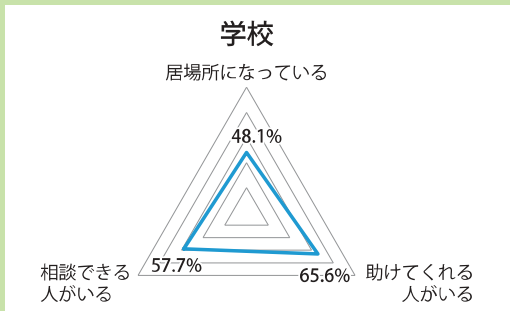
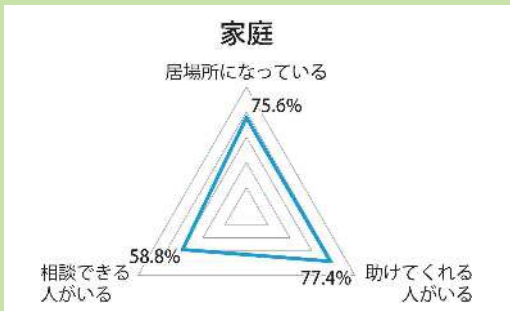
②相談できる人——次の場所に、何でも相談できる人がいる



③助けてくれる人——次の場所に、困ったときに助けてくれる人がいる

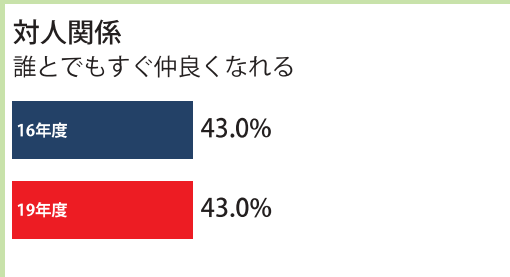
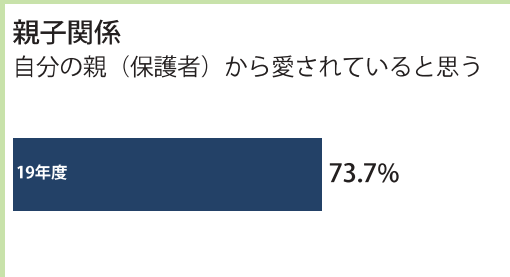


#### ④場ごとの認識



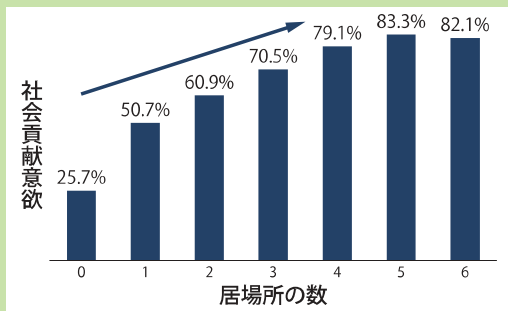
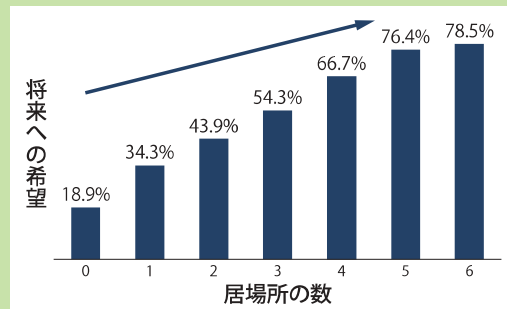
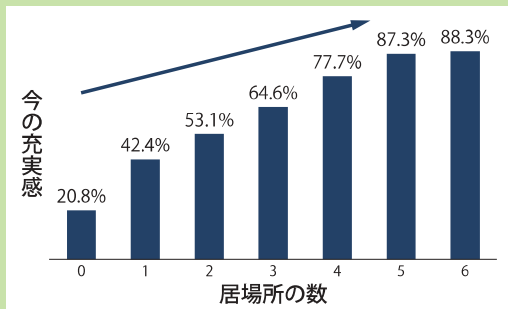
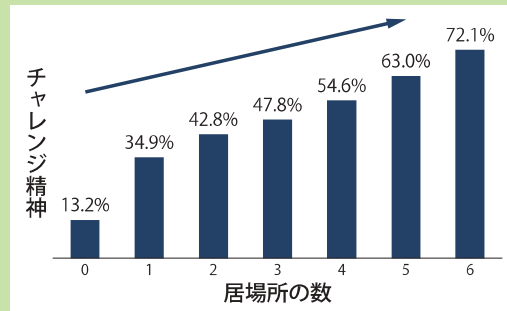
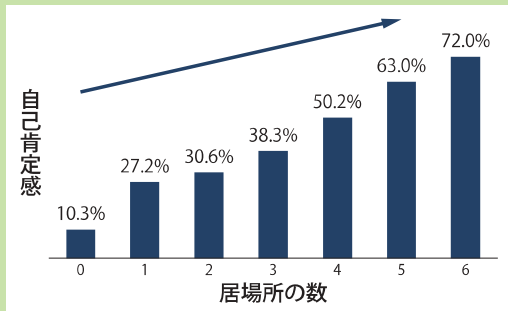
※19年度のデータ

#### ⑤人との関わり



子供・若者  
インデックスボード

⑥居場所の数と自己認識の関係

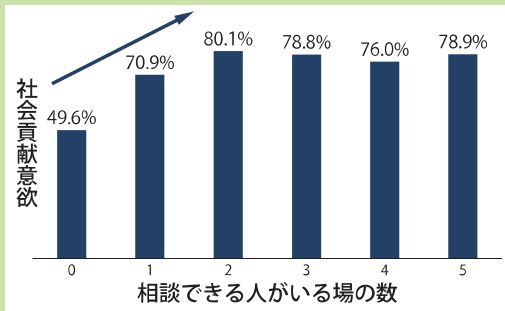
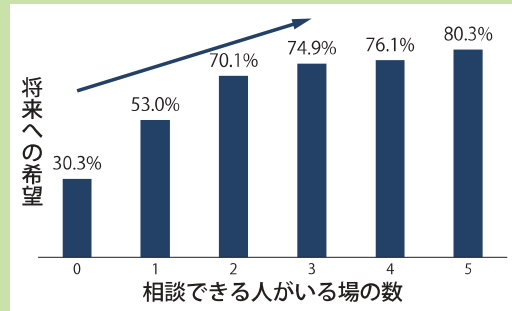
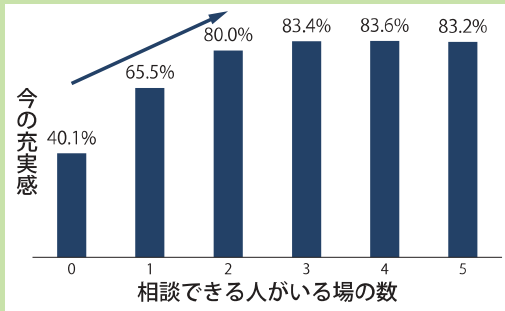
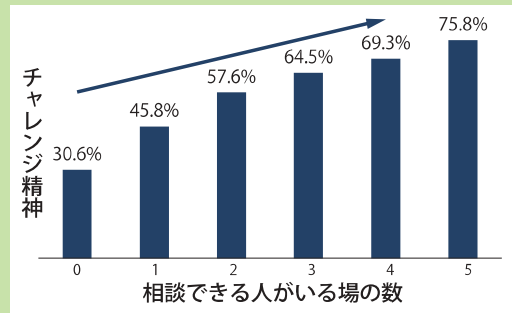
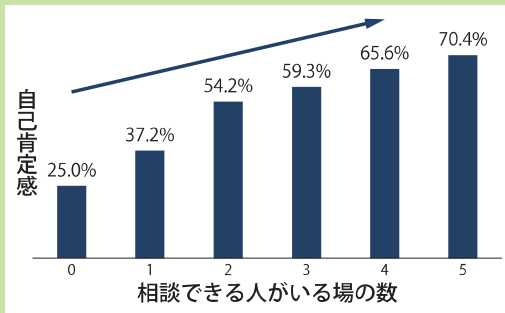


※19年度のデータ



居場所（自室、家庭、学校、地域、職場、インターネット空間）の多さと自己認識の前向きさは、概ね相関。

⑦相談できる人がいる場の数と自己認識の関係



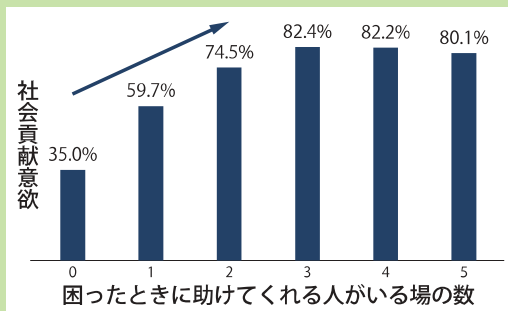
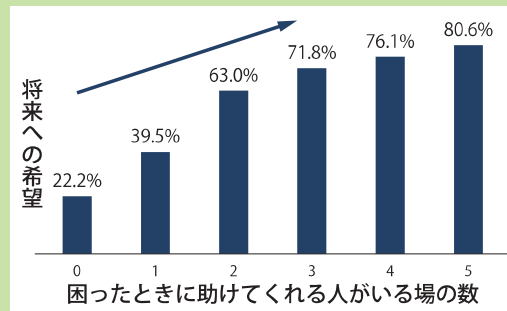
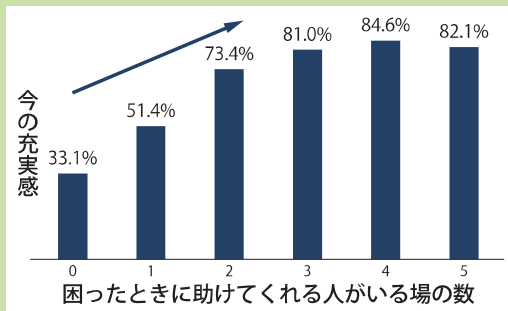
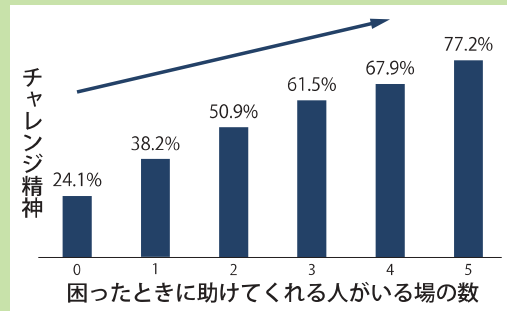
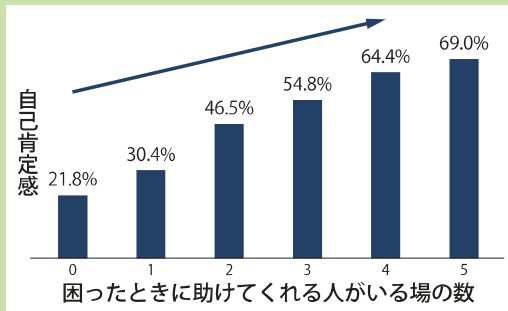
※19年度のデータ



相談できる人がいる場（家庭、学校、地域、職場、インターネット空間）の多さと自己認識の前向きさは、概ね相関。



⑧ 困ったときに助けてくれる人がいる場の数と自己認識の関係



※19年度のデータ



困ったときに助けてくれる人がいる場（家庭、学校、地域、職場、インターネット空間）の多さと自己認識の前向きさは、概ね相関。

### 3. 支援について

#### ① 困難経験

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があった



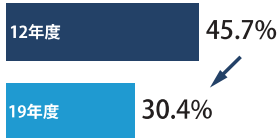
#### ② 困難改善経験

①の状態が改善した経験があった



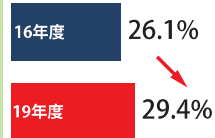
#### ③ 役に立った支援

受けた支援に効果があったものはない



#### ④ 支援機関の認知度

知っている機関※はない



※児童相談所、ハローワーク、児童館、教育相談所等

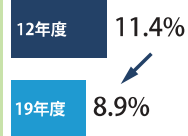
#### ⑤ 支援機関の利用希望

利用したいと思わない

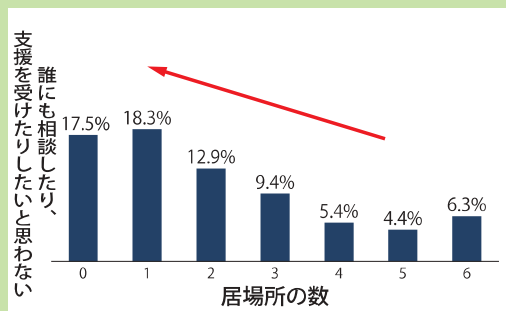
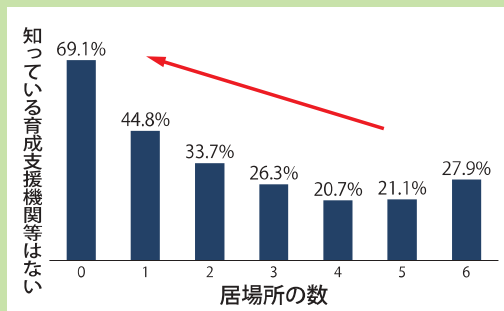
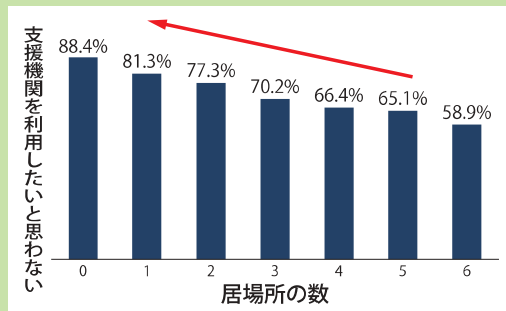
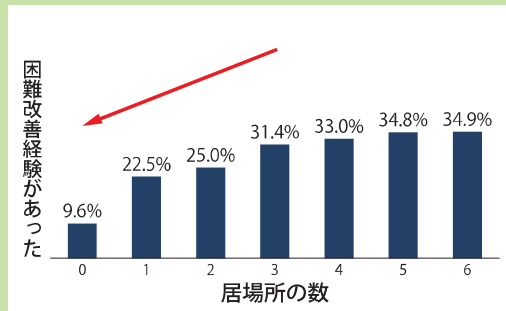


#### ⑥ 相談・支援の希望

誰にも相談したり、支援を受けたりしたいと思わない



## 居場所の数との関係



※ 19年度のデータ



居場所が少ない人ほど、困難な状態が改善した経験が少なく、支援希望や支援機関の認知度等も低い傾向がある。

## Ⅱ 子供・若者及び子供・若者を取り巻く状況

### 1. 場ごとの状況

#### ① 家庭

##### 児童虐待

①児童相談所における児童虐待相談対応件数



厚生労働省「福祉行政報告例」  
※詳細はp152参照

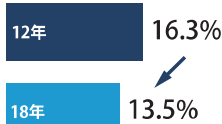
②警察が検挙した児童虐待事件の検挙件数



警察庁「少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」

##### 貧困

子供の貧困率



厚生労働省「国民生活基礎調査」  
※詳細はp137参照

##### ひとり親家庭

①子供がいる現役世帯のうち、大人が1人の世帯の貧困率



厚生労働省「国民生活基礎調査」  
※詳細はp137参照

②ひとり親と未婚の子供のみ世帯の平均所得



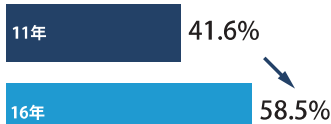
厚生労働省「国民生活基礎調査」  
※子供とは18歳未満の者をいい、子供がいる世帯に限定した場合の平均所得  
※詳細はp137参照

③ひとり親家庭の子供の進学率（高校等）



厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」  
※詳細はp137参照

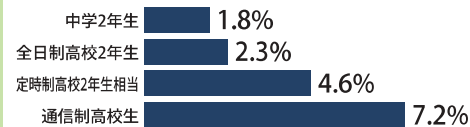
④ひとり親家庭の子供の進学率（大学等）



厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」  
※詳細はp137参照

##### ヤングケアラー

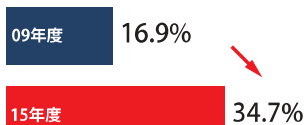
自分はヤングケアラー※に当てはまる



厚生労働省「令和2年度 ヤングケアラーの実態に関する調査研究」  
※本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っていることにより、子供自身がやりたいことができないなど、子供自身の権利が守られていないと思われる子供

##### ひきこもり

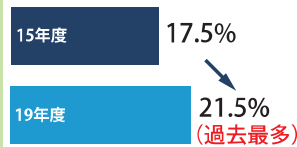
ひきこもりの状態になってからの期間が7年以上の者



内閣府「若者の生活に関する調査」、「若者の意識に関する調査」

##### 社会的養護

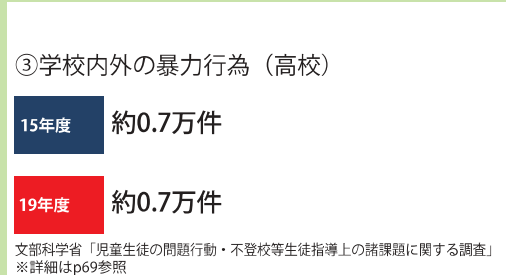
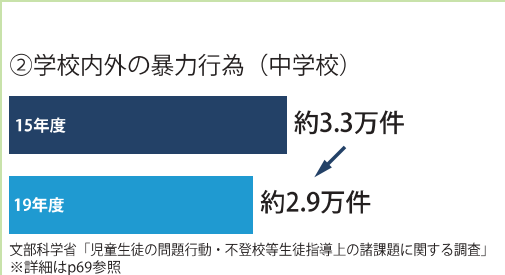
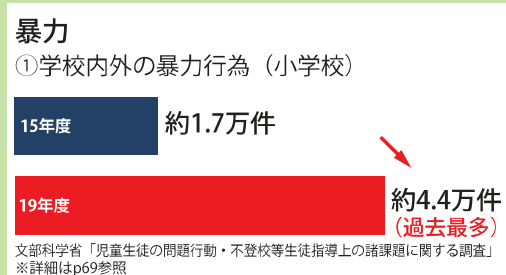
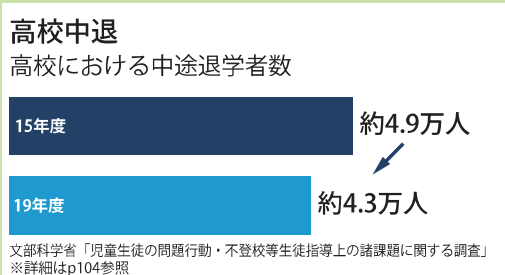
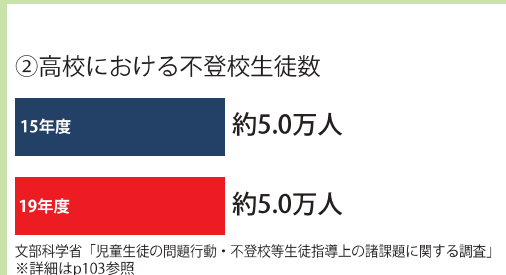
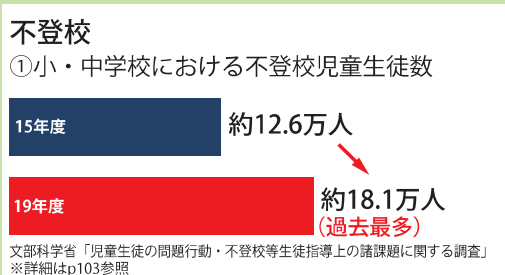
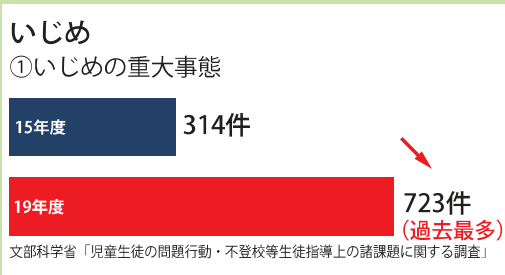
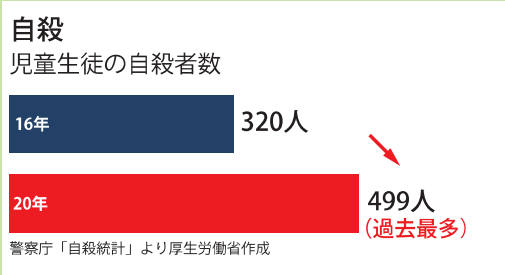
里親委託率



厚生労働省「福祉行政報告例」  
※詳細はp157参照



②学校



### OECD生徒の学習到達度調査 (PISA)

#### ①「数学的リテラシー」平均得点



文部科学省資料 ※カッコ内はOECD加盟国中の順位  
※詳細はp174参照

#### ②「読解力」平均得点



文部科学省資料 ※カッコ内はOECD加盟国中の順位  
※詳細はp174参照

#### ③「科学的リテラシー」平均得点



文部科学省資料 ※カッコ内はOECD加盟国中の順位  
※詳細はp174参照

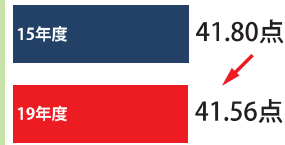
### 体力テストの合計点

#### ①小学5年生 (男子)



スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

#### ②中学2年生 (男子)



スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

#### ③小学5年生 (女子)



スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

#### ④中学2年生 (女子)



スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」



学校における体験活動の実施時間数

①小学校



文部科学省調べ

②中学校



文部科学省調べ

③高校



文部科学省調べ

留学生交流

①日本人の海外留学者数



OECD等による統計を基に文部科学省が集計  
※詳細はp168参照

②外国人留学生



独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」  
※詳細はp168参照

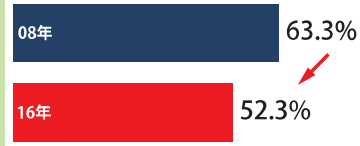
### ③地域

#### 地域での付き合い 付き合っていると回答した割合



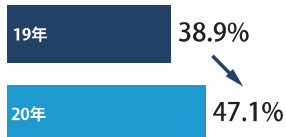
内閣府「社会意識に関する世論調査」

#### 団体などが行う自然体験活動への参加率



独立行政法人国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査（H20年度調査）」、「青少年の体験活動等に関する意識調査（H28年度調査）」

#### 地方移住に関心があると回答した 東京23区の20代の割合



内閣府「第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

#### 放課後子供教室数



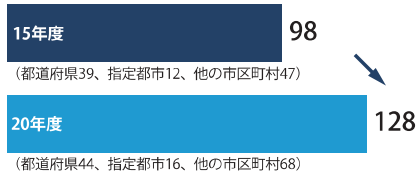
文部科学省「学校と地域でつくる学びの未来」  
※詳細はp184参照

#### 放課後児童クラブ数



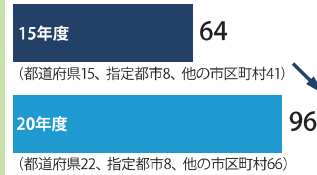
厚生労働省「放課後児童健全育成事業の実施状況」  
※詳細はp184参照

#### 子ども・若者計画策定数



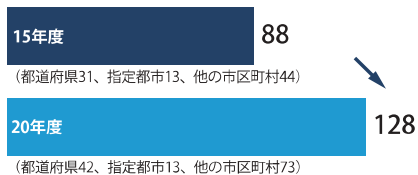
内閣府「地方青少年育成支援行政の現況調査」

#### 子ども・若者総合相談センター設置自治体数



内閣府「地方青少年育成支援行政の現況調査」  
※詳細はp55参照

#### 子ども・若者支援地域協議会設置数

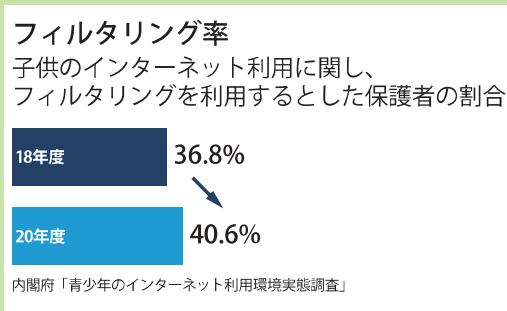
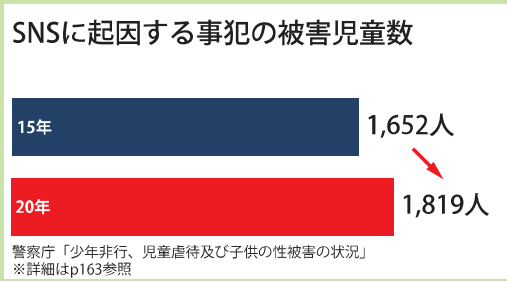
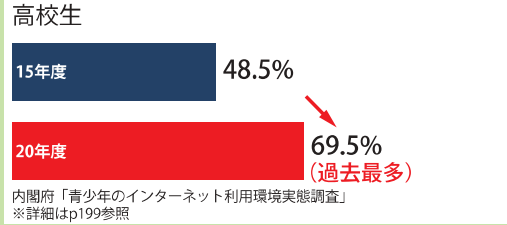
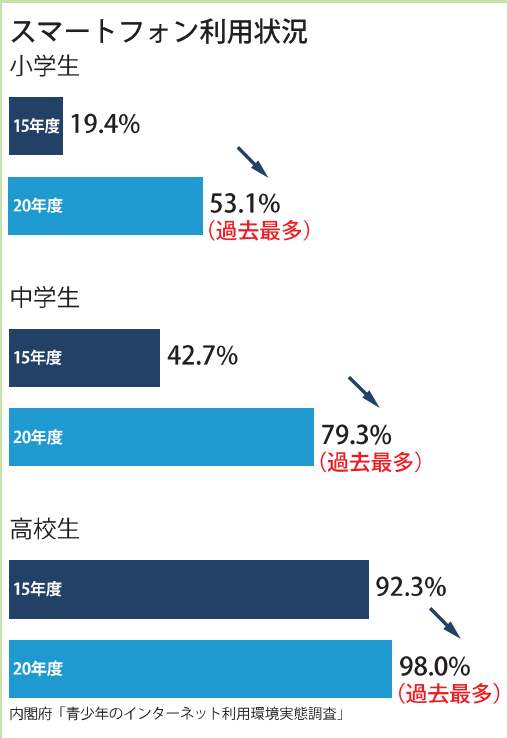
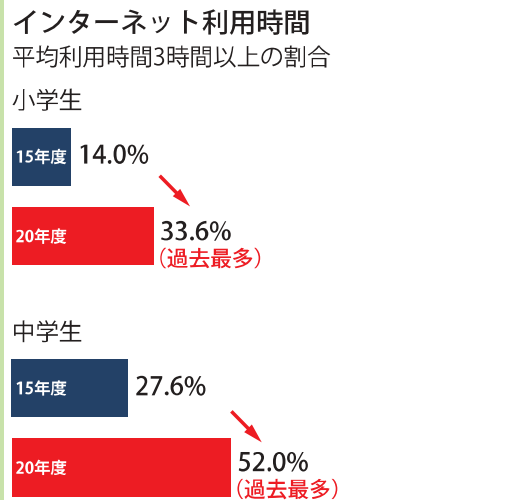
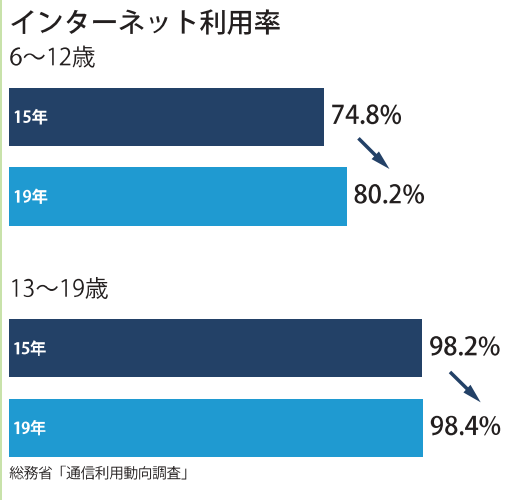


内閣府「地方青少年育成支援行政の現況調査」  
※詳細はp98参照





④ ネット

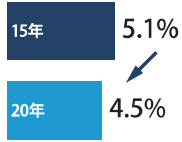


⑤働く場

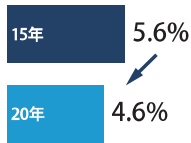


完全失業率（男女計）

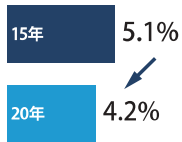
15～19歳



20～24歳



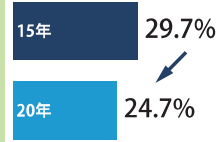
25～29歳



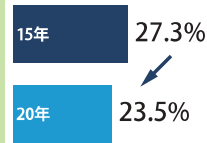
総務省「労働力調査」

非正規雇用者比率（男女計）

15～24歳



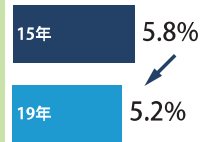
25～34歳



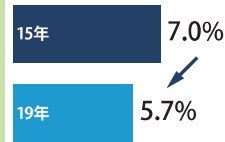
総務省「労働力調査」

15～34歳人口に占めるフリーターの割合

男性



女性



総務省「労働力調査」

平均賃金（25～29歳）

正社員・正職員

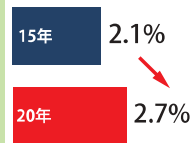


正社員・正職員以外



厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

15～39歳人口に占める若年無業者の割合（男女計）



総務省「労働力調査」

テレワークの実施率（全国）

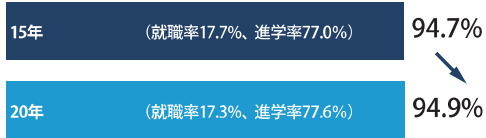


内閣府「第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

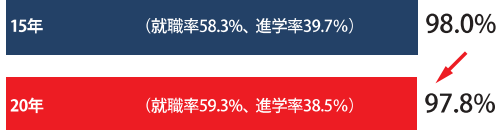


就職・進学者数の割合（学校別）

① 高校



② 高等専門学校



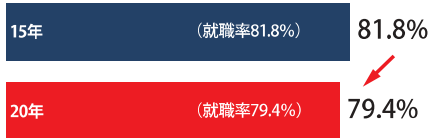
③ 短期大学



④ 大学



⑤ 専修学校（専門課程）



文部科学省「学校基本統計」  
 ※高校については、中等教育学校後期課程卒業者を含む

## 2. 複数の場に共通する状況

### ① 生命・安全

#### 30歳未満の自殺者数（男女計）

～19歳



20～29歳



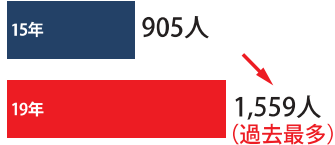
警察庁「自殺統計」より厚生労働省作成  
※詳細はp143参照

#### 児童買春等の被害児童の数

児童買春



児童ポルノ



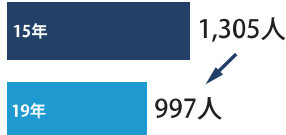
警察庁「少年の補導及び保護の概況」  
※詳細はp161参照

#### 触法少年（刑法）の補導人数



警察庁「少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」  
※詳細はp116参照

#### 30歳未満の不慮の事故での死亡者数



厚生労働省「人口動態統計」

#### 20歳未満の者が主たる被害者となる 刑法犯の認知件数



警察庁「少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」

#### 刑法犯少年の検挙人数



警察庁「少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」  
※詳細はp116参照

#### 刑法犯少年の検挙人数 （人口1,000人当たりの人数）



警察庁「少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」  
※詳細はp116参照

#### 薬物事犯で検挙された30歳未満の者の数 覚醒剤



大麻



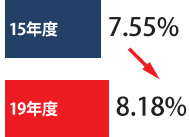
警察庁「令和2年における組織犯罪の情勢」  
※詳細はp124参照

②健康

肥満傾向児の出現率  
小学生（11歳）



中学生（14歳）



高等学校（17歳）

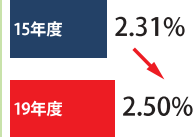


文部科学省「学校保健統計」  
※詳細はp50参照

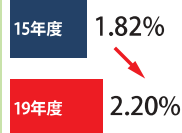
痩身傾向児の出現率  
小学生（11歳）



中学生（14歳）

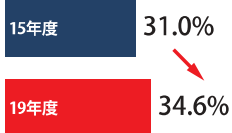


高等学校（17歳）



文部科学省「学校保健統計」  
※詳細はp50参照

裸眼視力1.0未満の者  
小学生



中学生



高校生

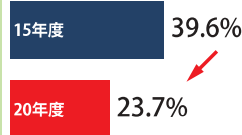


文部科学省「学校保健統計」

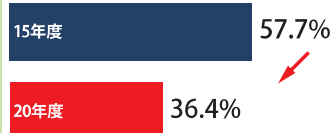
栄養バランス

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を  
1日2回以上ほぼ毎日食べている者の割合

20代



全世代

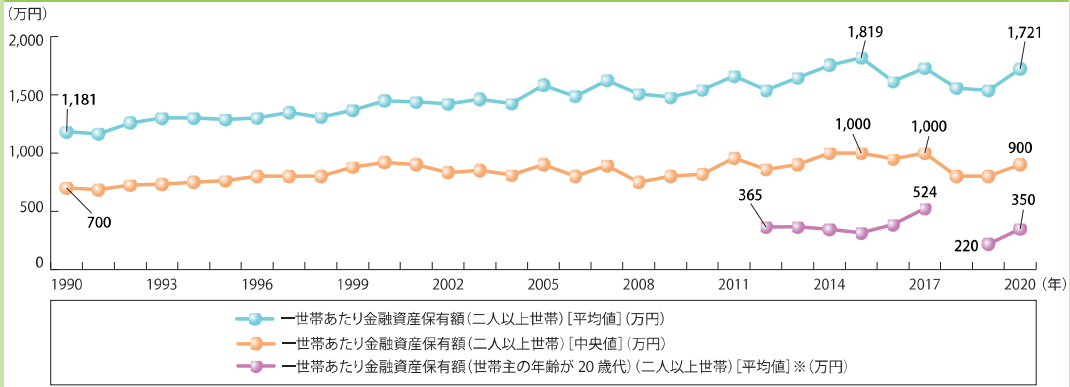


内閣府（2015）、農林水産省（2020）「食育に関する意識調査」  
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、令和2年度は調査方法を「郵送またはインターネットを用いた自記式」に変更して実施（令和元年度までは「調査員による個別訪問面接聴取法」）  
※詳細はp29参照

### Ⅲ 満足度・生活の質を表す指標群（ダッシュボード）

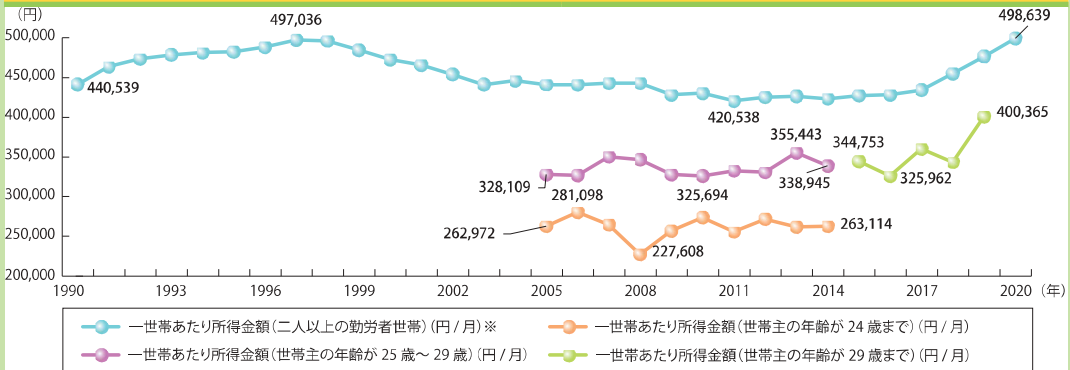
#### 家計と資産

##### 金融資産残高



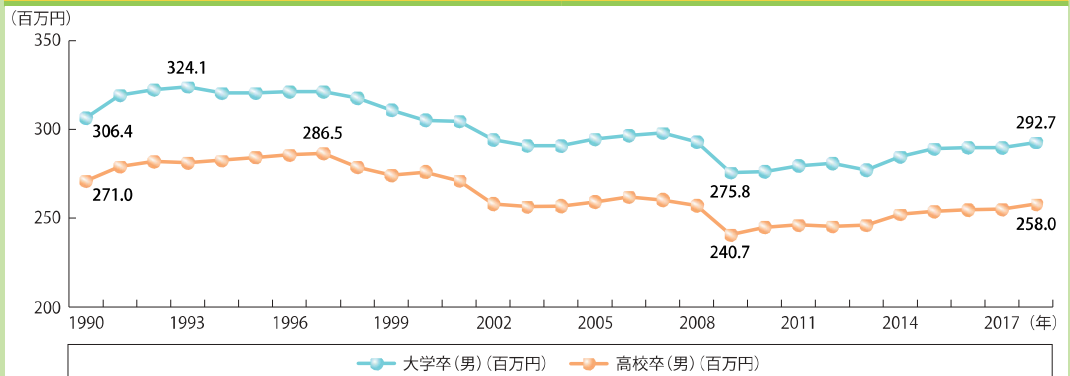
金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」  
※2018年の年代別データは未集計

##### 可処分所得金額



総務省「家計調査」  
※2000年までは「農林漁家世帯を除く」結果の数値、2001年以降は「農林漁家世帯を含む」結果の数値  
また、2018年に調査方法を変更しており、単純比較できない

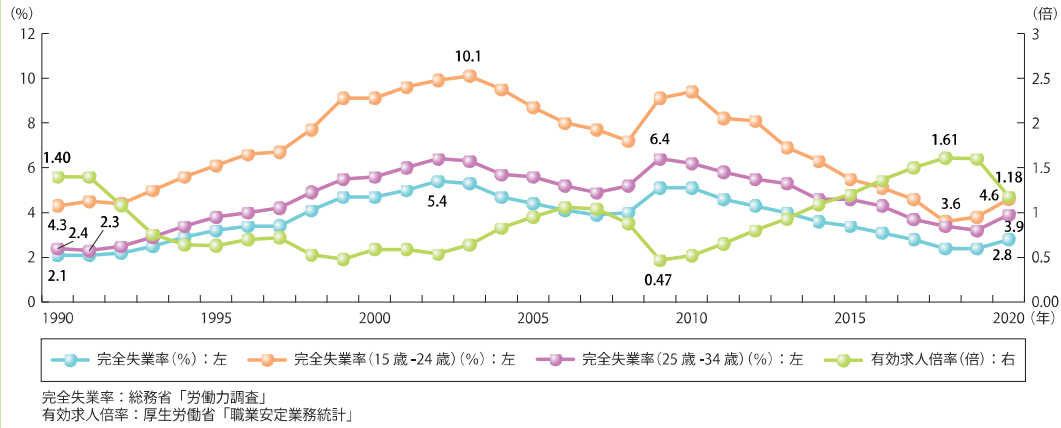
##### 生涯賃金



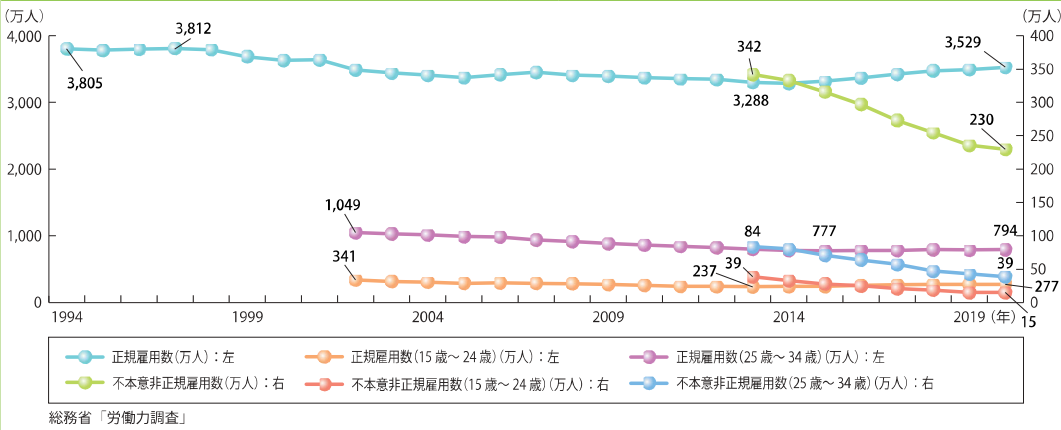
独立行政法人労働政策研究・研修機構「ユースフル労働統計 2020」  
※生涯賃金は、同一企業型職業生涯(新卒から定年まで同一企業に勤務した場合の推計値)

## 雇用と賃金

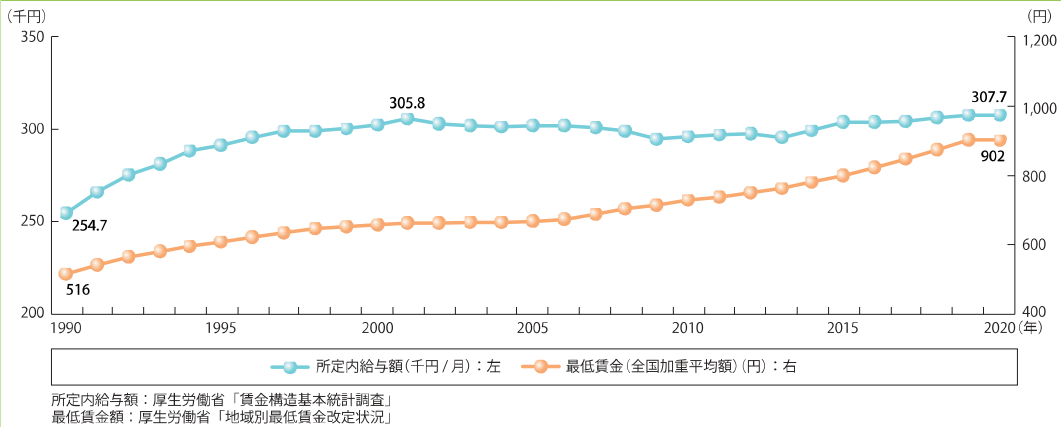
### 完全失業率・有効求人倍率



### 正規雇用数・不本意非正規雇用数

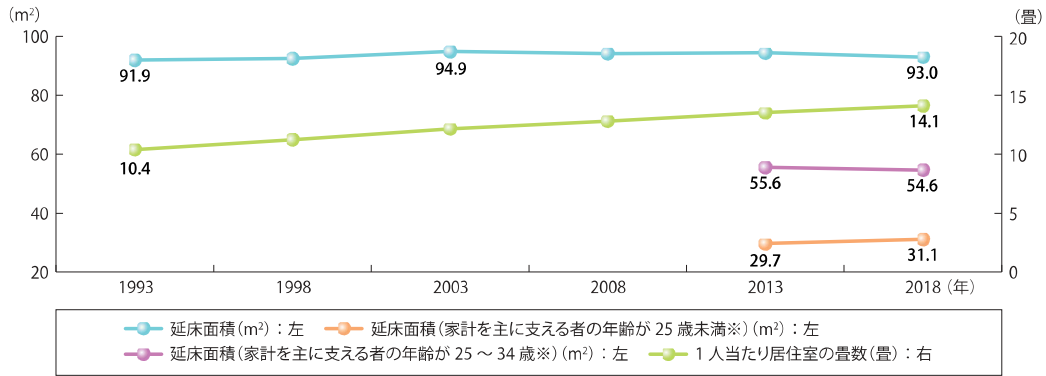


### 所定内給与額・最低賃金額



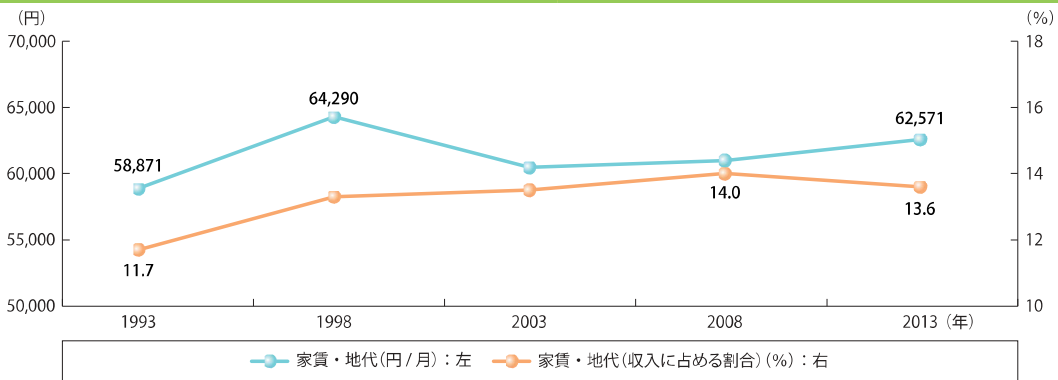
## 住宅

### 延床面積



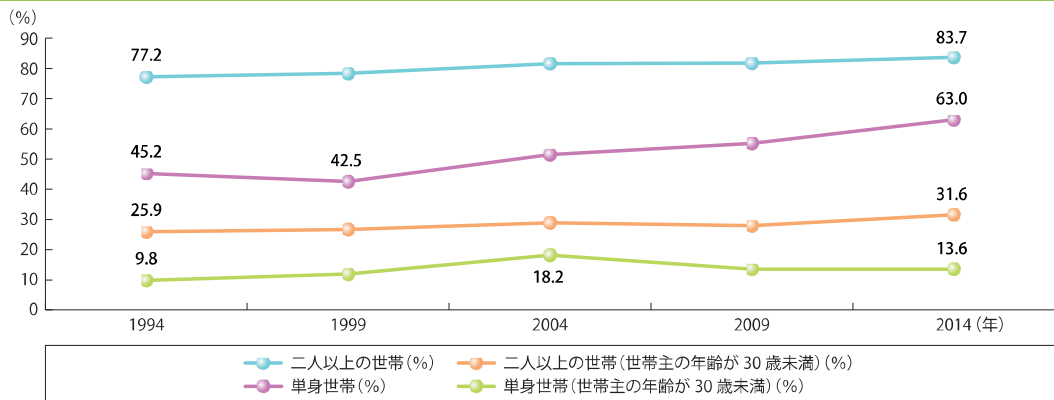
総務省「住宅・土地統計調査」  
※家計を主に支える者の年齢。年齢階級により世帯人員が異なることに留意

### 家賃・地代 (収入に占める割合)



総務省「全国消費実態調査」  
※収入は年間収入÷12

### 住宅保有率



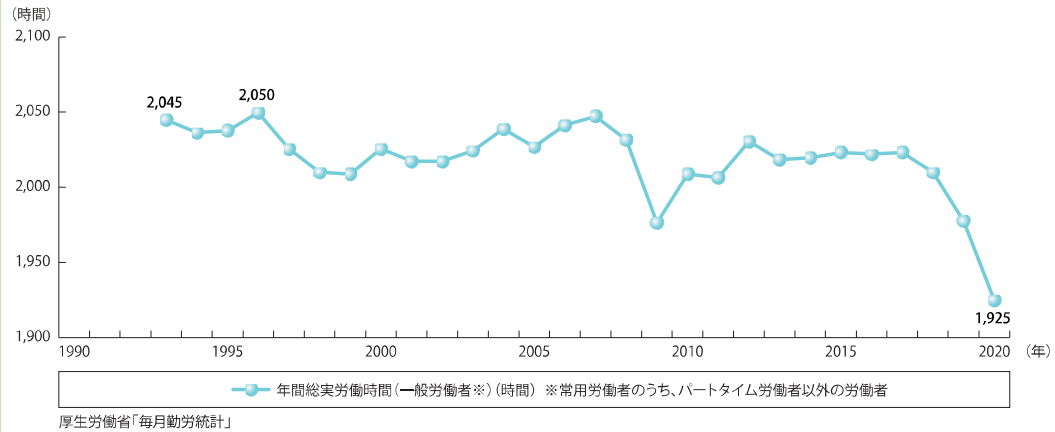
総務省「全国消費実態調査」



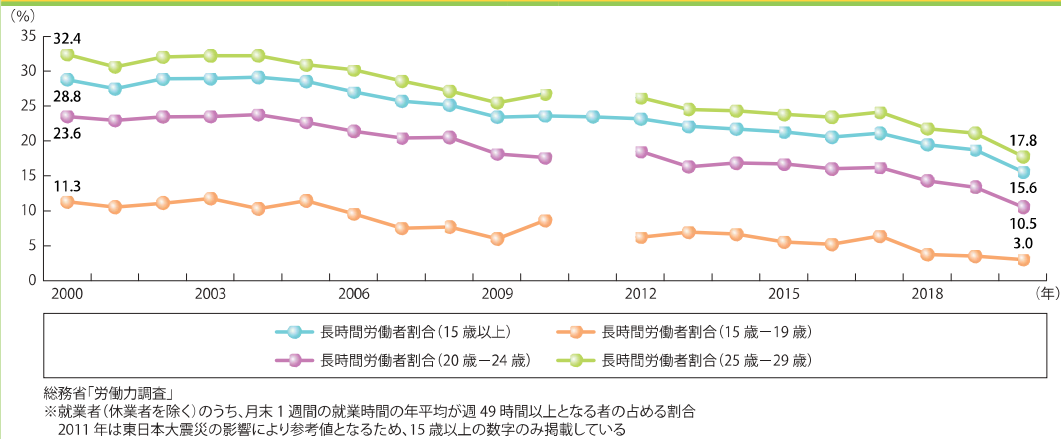


## 仕事と生活 (ワークライフバランス)

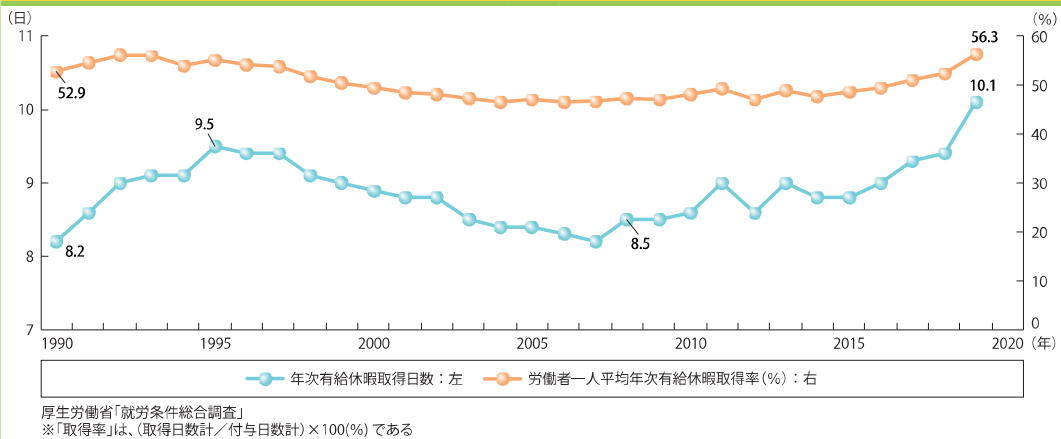
### 実労働時間 (一般労働者)



### 長時間労働者割合 (週49時間以上)

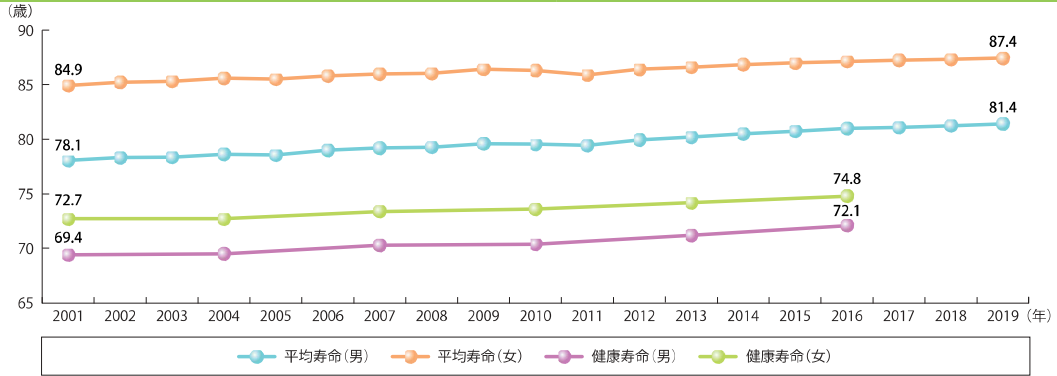


### 年次有給休暇取得率



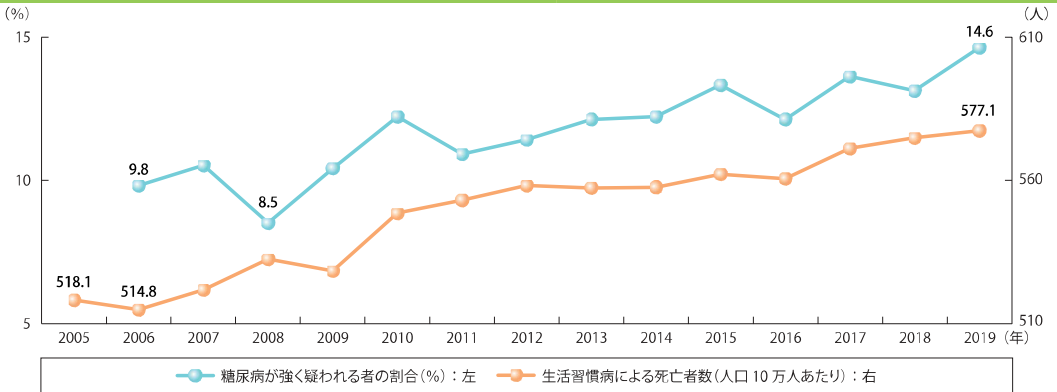
## 健康状態

### 平均寿命・健康寿命



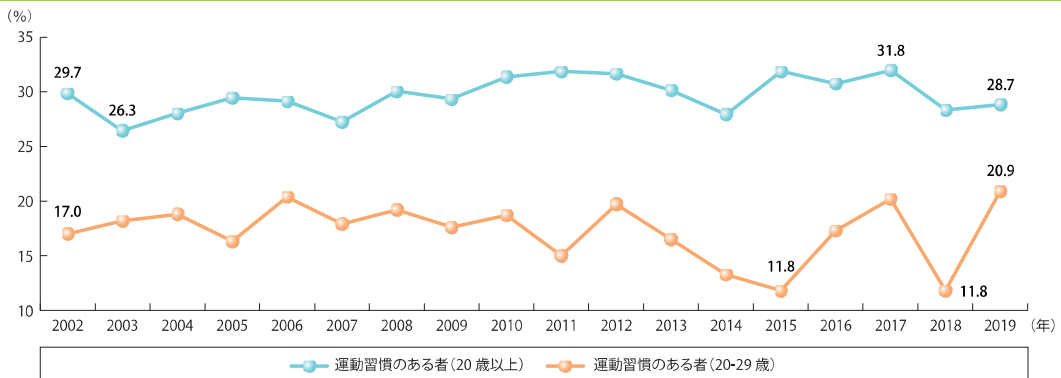
平均寿命：厚生労働省「完全生命表」「簡易生命表」  
健康寿命：健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究（2013）  
厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会資料

### 糖尿病が強く疑われる者の割合 生活習慣病による死亡者の推移



糖尿病が強く疑われる者の割合：厚生労働省「国民健康・栄養調査」  
生活習慣病による死亡者数：総務省「都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）」

### 運動習慣がある者の割合

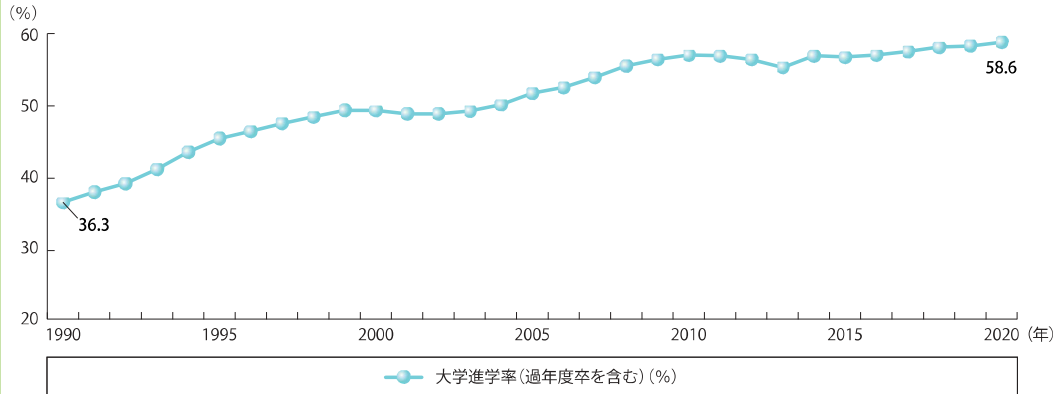


厚生労働省「国民健康・栄養調査」  
※「運動習慣のある者」とは、1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者

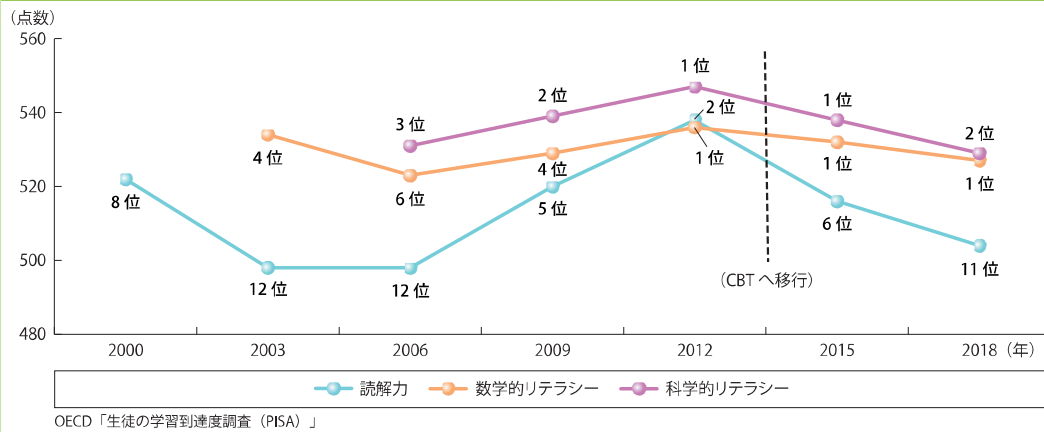
子供・若者  
インテックスボード

## 教育環境・教育水準

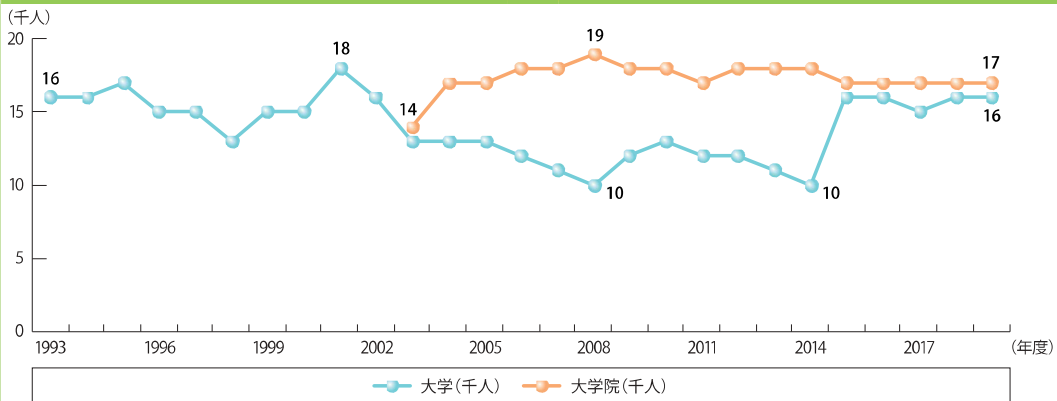
### 大学進学率



### 学習到達度のOECD加盟国順位

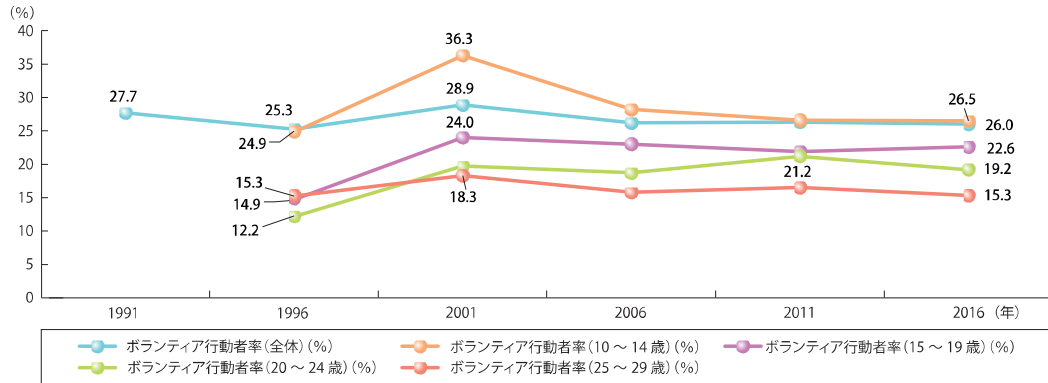


### 社会人入学者数（大学・大学院）



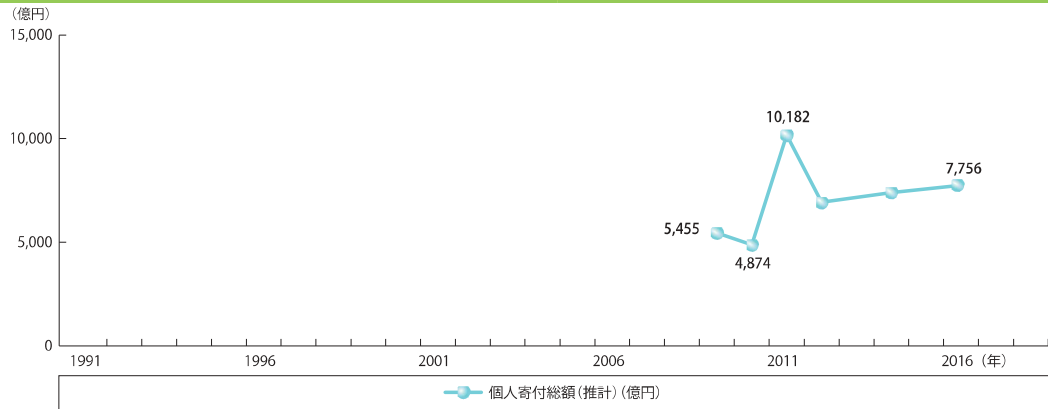
## 社会とのつながり

### ボランティア行動者率



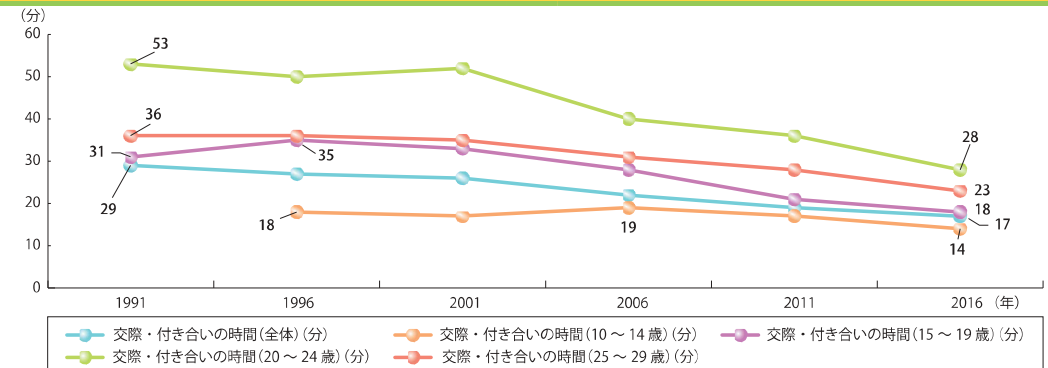
総務省「社会生活基本調査」  
※1991年は15歳以上を、1996年以降は10歳以上を調査対象としている

### 個人寄付総額



NPO 法人ファンドレイジング協会「寄付白書」

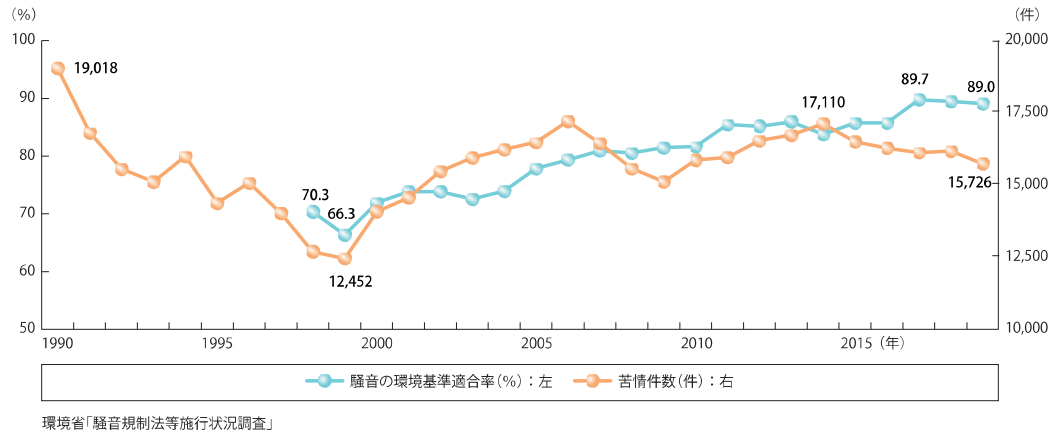
### 交際・付き合いの時間



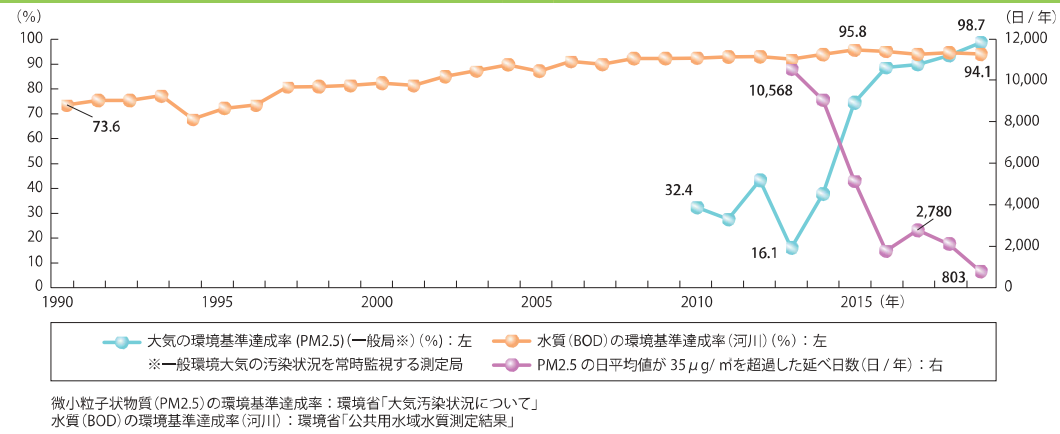
総務省「社会生活基本調査」  
※1日の生活時間のうち、交際・付き合いをした時間(週全体平均)。調査日当日に該当する種類の行動をしなかった人を含む  
1991年は15歳以上を、1996年以降は10歳以上を調査対象としている

## 自然環境

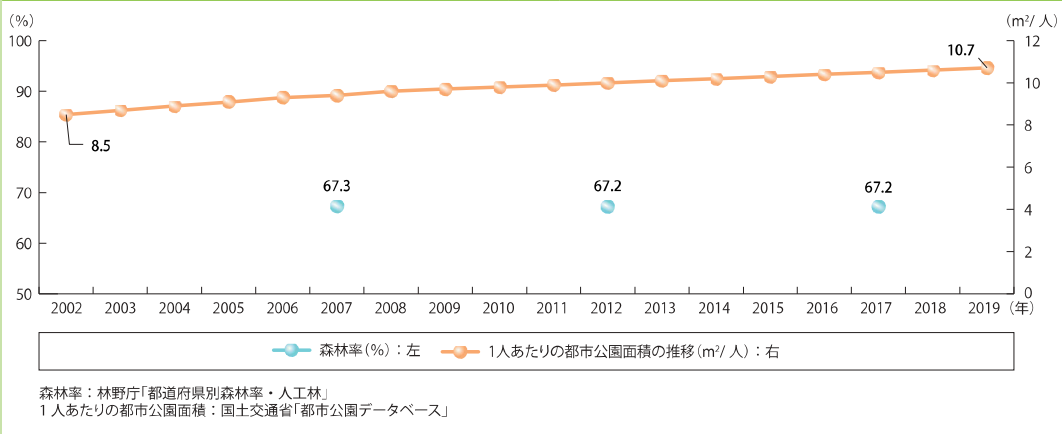
### 騒音の環境基準適合率



### 微小粒子状物質（PM2.5）、水質（BOD）の環境基準達成率

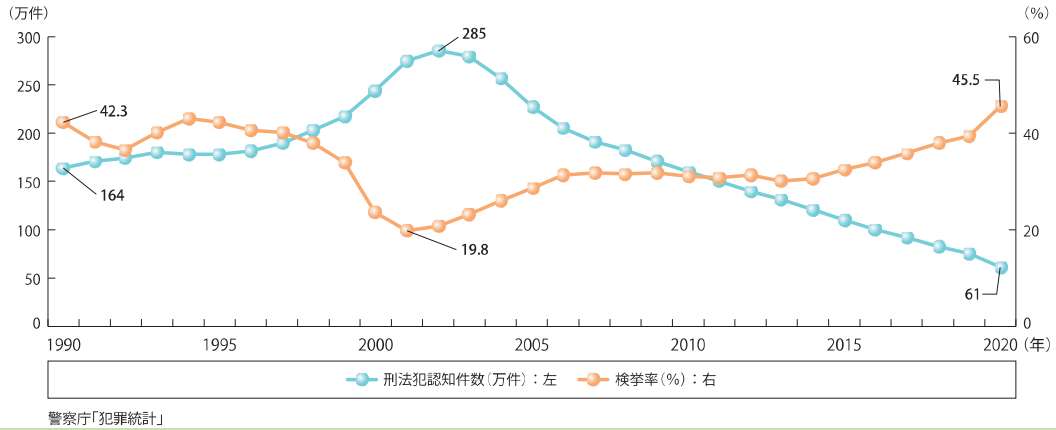


### 森林率、1人あたりの都市公園面積の推移

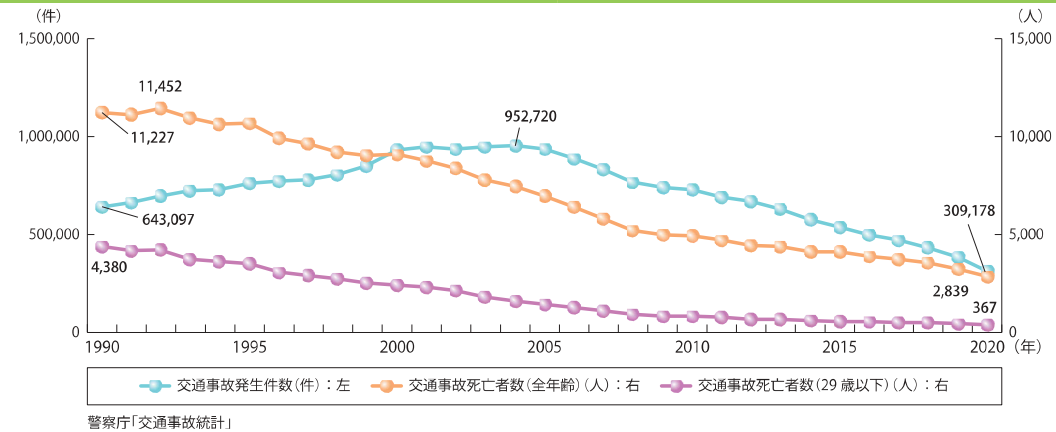


## 身の周りの安全

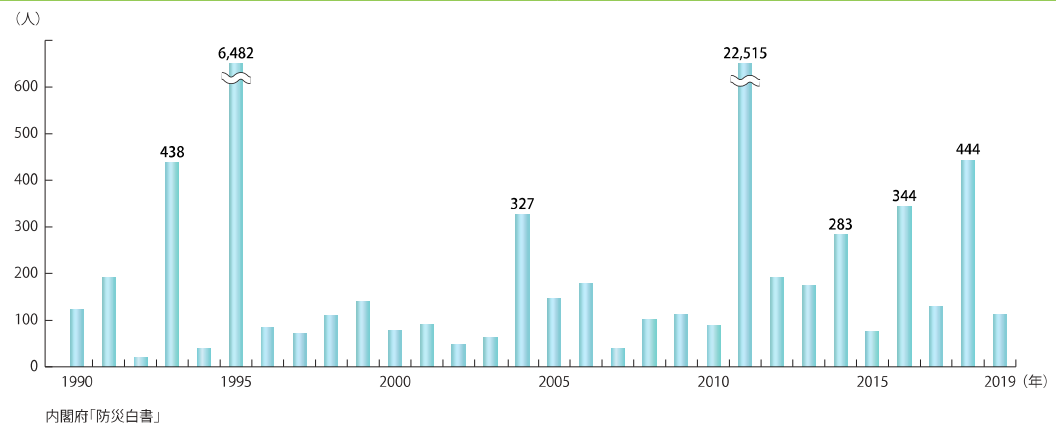
### 刑法犯発生件数（認知件数）



### 交通事故死亡者数

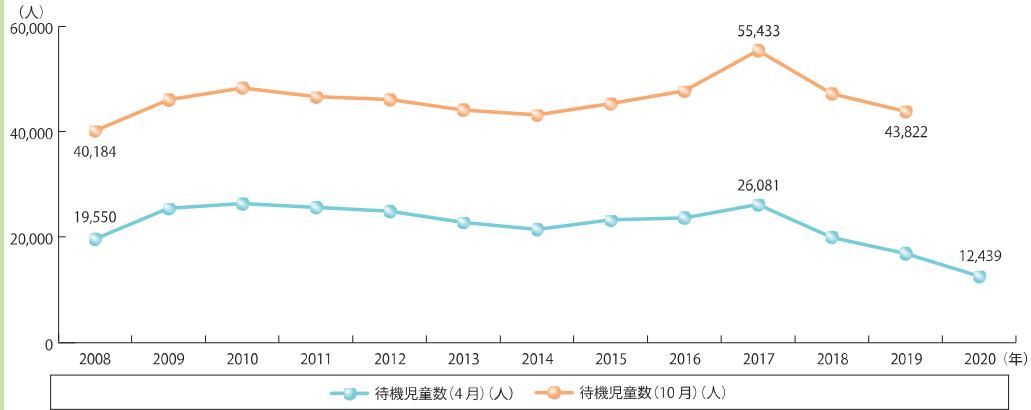


### 自然災害による死者・行方不明者数



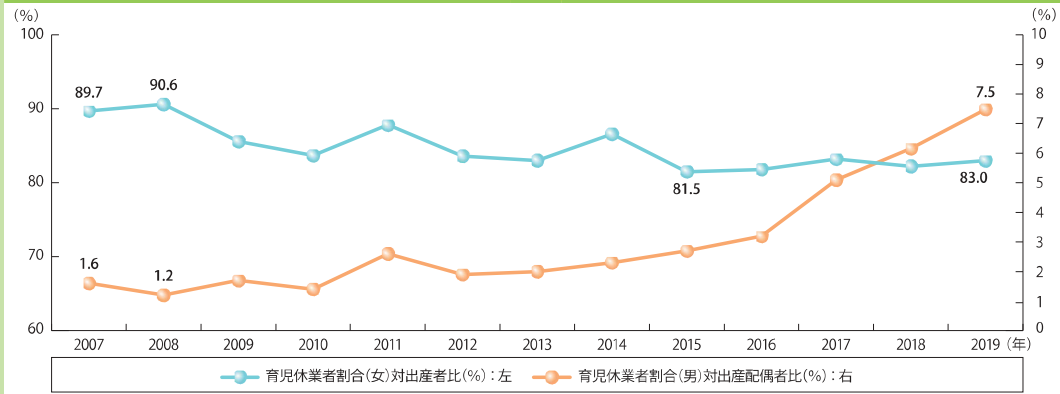
## 子育てのしやすさ

### 保育所待機児童数



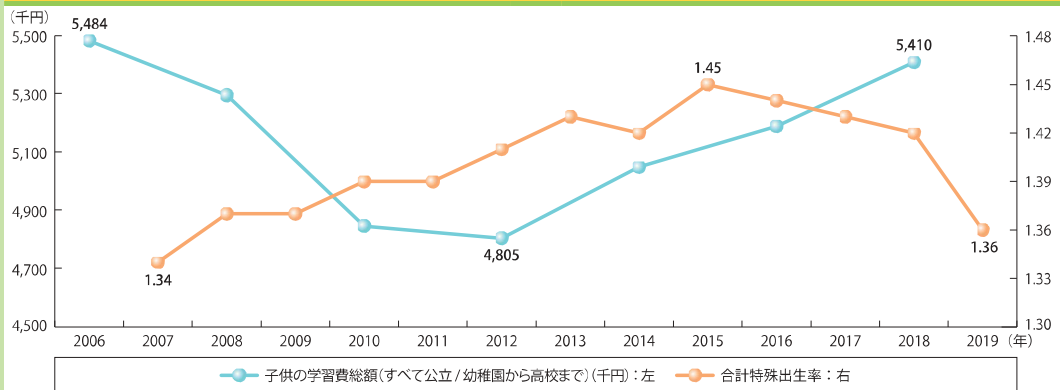
厚生労働省「保育所待機児童数の状況」

### 育児休業取得者の割合



厚生労働省「雇用均等基本調査」  
※2011年の割合は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果

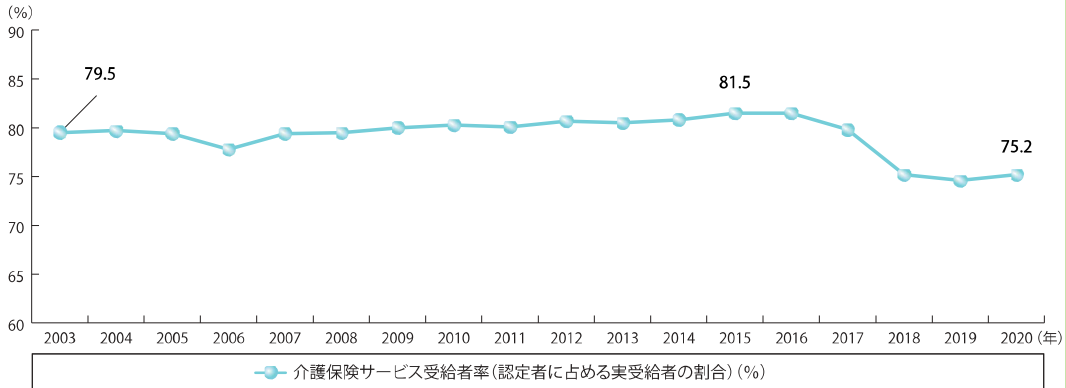
### 子供の学習費総額（すべて公立）合計特殊出生率



子供の学習費総額：文部科学省「子供の学習費調査」  
合計特殊出生率：厚生労働省「人口動態統計」

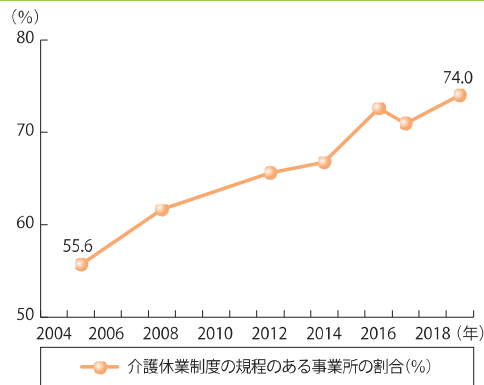
## 介護のしやすさ・されやすさ

### 介護保険サービスの受給者の割合

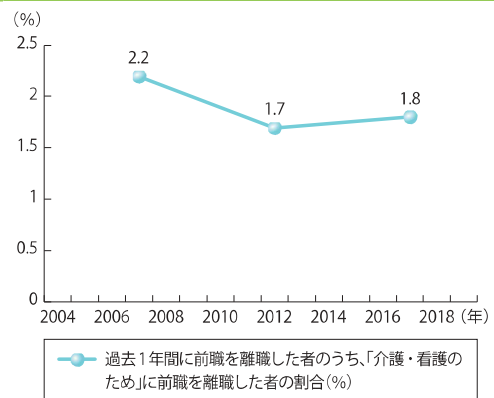


厚生労働省「介護給付費等実態統計」  
※各年4月審査分

### 介護休業制度の規定がある事業所の割合 介護・看護のために過去1年間に前職を離職した者の割合

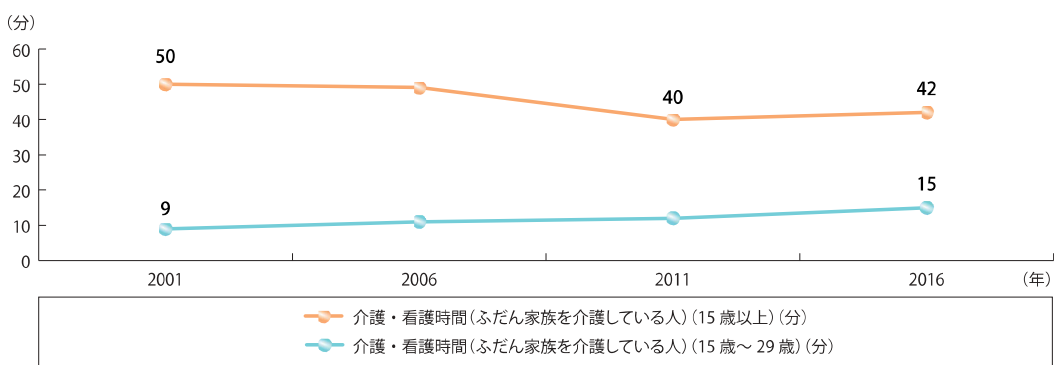


厚生労働省「雇用均等基本調査」  
※事業所規模5人以上



総務省「就業構造基本調査」

### 介護・看護時間



総務省「社会生活基本調査」  
※1日の生活時間のうち、介護・看護をした時間(週全体平均)。調査日当日に該当する種類の行動をしなかった人を含む